

山口県医師会における 女性医師支援について

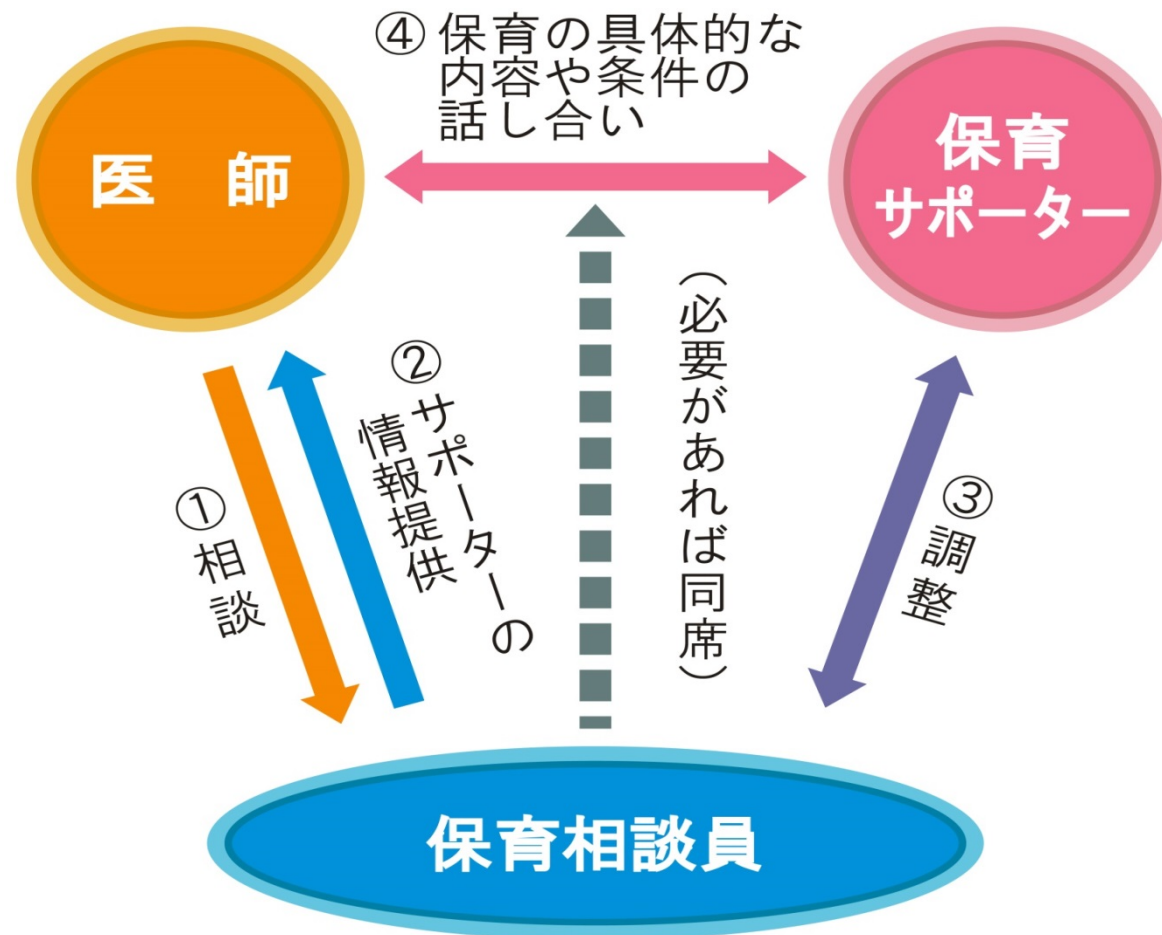
山口県医師会常任理事
前川 恭子

山口県医師会 男女共同参画部会の活動

- ・ 育児(子育て)支援
- ・ 勤務医環境問題
- ・ 地域連携
- ・ 女子医学生キャリア・デザイン支援
- ・ 広報
- ・ 介護支援

育児(子育て)支援

保育サポーターバンク運営



平成29年10月～平成30年9月

新規保育相談 21件

うち成立 14件

(活動サポーター—22名)

平成30年9月10日時点

保育支援利用医師 24名

活動サポーター— 30名

登録サポーター— 131名

相談者の変化

- ・ 男性・開業医の増加
- ・ 個人情報取り扱いへの意識
- ・ 複数の保育サポーターと面談した後に成立

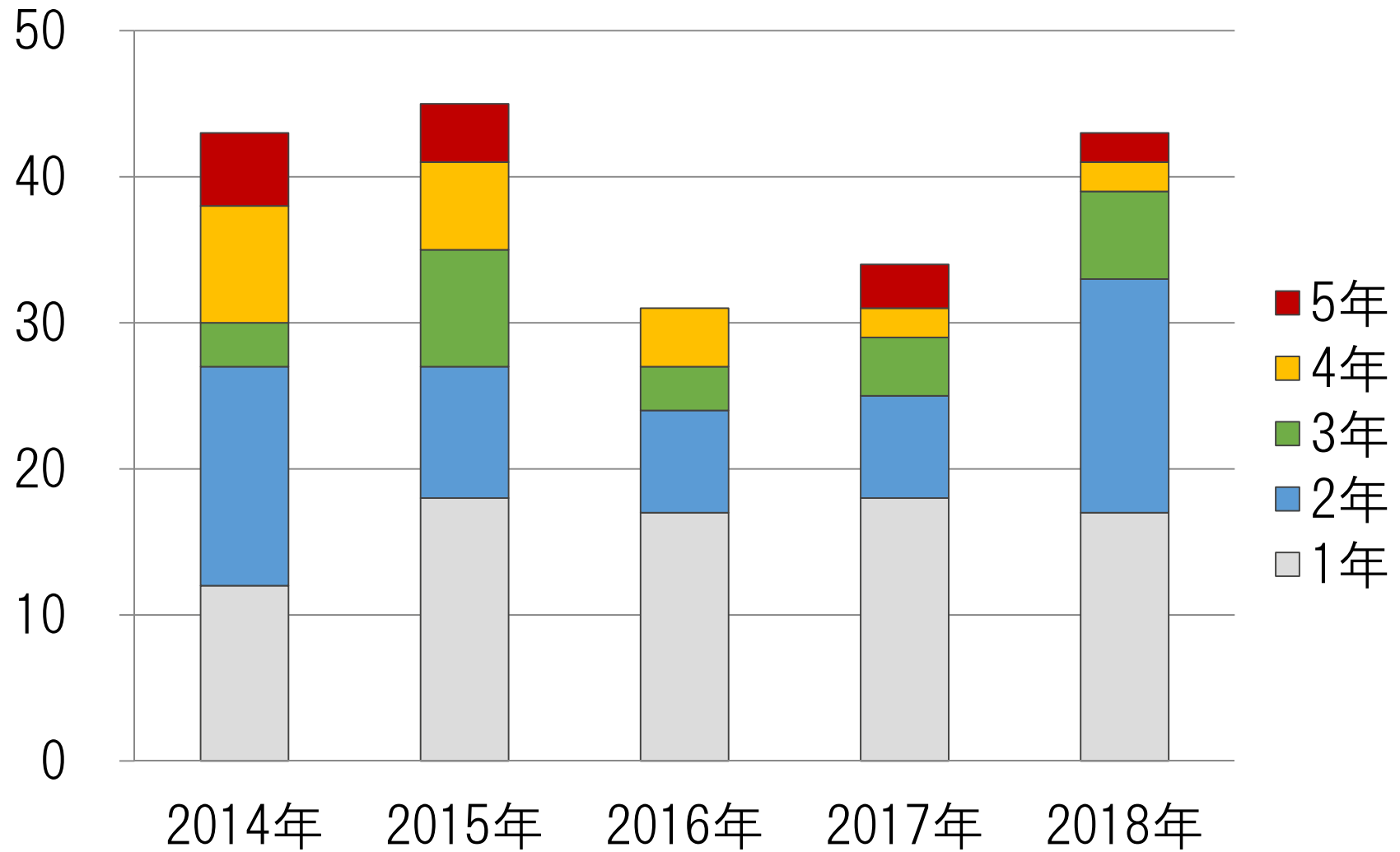
保育サポーターの変化

- ・ 何らかの仕事を持っているサポーターの増加
- ・ ゴールデンタイム(学童保育後)に対応できるサポーターの減少
- ・ サポーターの年齢上昇(4割が60歳代)

女子医学生インターンシップ

- ・ 女性医師の働く姿を見て、自分の将来をイメージしてもらおう。
- ・ 県医師会が女子医学生と女性医師をマッチングする。

学年別参加学生数



女子医学生の感想から

- ・ 将来への不安を減らせた。
- ・ 医療へのモチベーションを保つ機会になった。

女子医学生の希望

- ・ 子育てしながら総合病院で働く女性医師の姿を見たい。

女性医師側は？

- ・ 子育て中、勤務女性医師は忙しくインターンシップ受け入れが負担に見える。
- ・ 実際にインターンシップを受け入れる女性医師は女子医学生に熱心に語ってくれる。